

日本の絶景写真 心は旅へ

大自然や農山村の四季折々の風景。
日本各地には息をのむほど美しい景色がある。
旅を疑似体験できる絶景写真集を書店員が選んだ。



何でも **ランキング**

1位
570票

いちばん美しい季節に行きたい 日本の絶景365日 暦に合わせて1日1枚



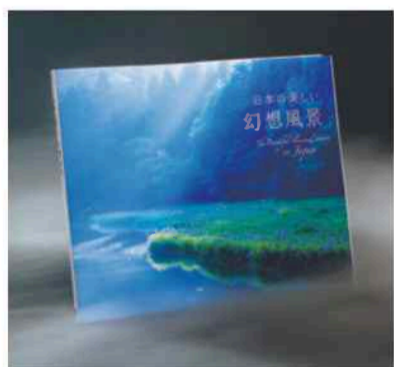
1位に選ばれたのは47都道府県の絶景を暦に合わせて、1日1枚ずつ紹介する写真集。旅情報などを発信するウェブメディア「TABIZINE(タビジン)」が全国の色鮮やかな写真を集めた。紅葉が色づいた11月の石鎚山(愛媛県)＝写真左＝など、各スポットが最も写真に映える季節の1枚を選んだのが特徴で「四季の1枚を選んだのが特徴で「四季の1枚を選んだのが特徴で」(番場文章さん)。

遠藤貴弘さんは「365日で最も美しい光景を巡りながら、列島の躍動を感じる事のできる1冊」と評価する。写真の枚数が非常に多いため、誰もが好みの場所を見つけられそう。眺めているだけで旅をした気分になれる。「解説は最小限なので写真に没頭できる」(瀬之口和樹さん)のもいい。①TABIZINE②パイ インターナショナル③2020年2月④1900円＋税

2位
440

日本の美しい幻想風景

絵画の中 旅する気分



日本風景写真家協会に所属する全国のプロ写真家15人の合作。「海外でみるような幻想的な風景写真を日本でも集めたいという思いで企画した」(出版元のパイ インターナショナル)。「様々な写真家によって撮られた神秘的な光景は心を打つ」(芝健太郎さん)

光の差し込み方の違いにより青やピンクに輝く山、霧の立ちこめる湿原など、限られたシャッターチャンスをものにした写真が印象的だ。「ここは本当に日本なのだろうかと思わせる、知られざる絶景が掲載されており、夢の世界や絵画の中を旅するような気分にな

る」(大友溪さん)。見慣れた日本の景色も表現の仕方で大きく印象が変わることに気づかされる。「文句なしにおすすめでプレゼントにも最適」(神谷康江さん)。①日本風景写真家協会②パイ インターナショナル③2019年10月④2400円＋税



今週の専門家

▽青柳将人(文教堂商品本部)▽伊藤貴光(八重洲ブックセンター本店美術書担当)▽遠藤貴弘(紀伊国屋書店新宿本店課長)▽大友溪(楽天ブックス書籍グループ)▽神谷康江(有隣堂商品戦略部書籍課長)▽芝健太郎(フタバ図書商品部書店バイヤー)▽鈴木統太郎(ジュン

ク堂書店池袋本店)▽瀬之口和樹(リプロ南町田グランベリーパーク店店長)▽番場文章(銀座蔦屋書店写真コンシェルジュ)▽山口優太(くまざわ書店ペリエ千葉本店店長)＝敬称略、五十音順